

# キリストへの時間

「キリストへの時間」協力委員会報

## 「ラジオを通して、主イエスのご訪問を受けて」

「キリストへの時間」協力委員 日本キリスト改革派四日市教会牧師 長谷川 潤

『見よ、私は戸口に立って扉を叩いている。もし誰かが、私の声を聞いて扉を開くならば、私は中に入って、その人と共に食事をし、彼もまた私と共に食事をするであろう』(黙3:20, 協会共同訳)。

「ふぞろいの林檎たち」、「青が散る」など青春テレビドラマを放映していた1983年、私もその登場人物たちのように青春真っ只中でしたが、無理が祟ってドクターから入院を宣告されてしまいました。人生の土台がぐらつき、目の前が真っ暗になった時はそれまでありませんでした。この辺りのことは、昨年10月の70周年記念放送にて証しさせていただきました(会報第79号に掲載)。しかし、主の道に備えあり!今から振り返ると、主イエスは、こんな罪深い私をご訪問下さるために、あの時を備えて下さったのでした。

当時、テレビやラジオというメディアでは、早朝に宗教番組が多く提供されていました。キリスト教系ばかりではありません。仏教系、神道系 etc です。今現在は、CBC(中部日本放送)ですと、毎週日曜日午前6時30分からの当番組と、その後の15分枠ぐらいが、いわゆる宗教番組なのでしょうか。それに比べ、80年代は、結構、毎朝、いろんな宗教の番組が提供されていたのです。人生がぐらついた時、私が選択したのは、やはり、宗教に頼ることでした。家の宗教が仏教だったために、正直、一度は仏教に皈依して、日本人なので、先祖の霊に頼ろうとした時もありました(当時、俳優・丹波哲郎氏の「大霊界も流行」)。しかし、幼い頃から憧れだったキリスト教も捨てがたかったのです。多様な宗教番組を視聴する中で、私の心の扉に迫って来たのは、やはり、キリスト教系の番組が提供している主イエス・キリストという御方でした。今から思うと、もし、私が中部

圏に住んでいたなら、番組開始から70年以上もミニ礼拝形式を貫く「キリストへの時間」を恐らく聴いていたことでしょうから、もっとダイレクトに、主イエスは私の心の扉を叩いて下さったに違いありません。関東地方在住の私は、キリスト教の中でも、カトリック教会や福音派系の番組、そして特にルーテル教会の番組を通して諸教派を巡り、結局、改革派教会に落ちていて所属教会にて洗礼を受けたのが、1984年6月10日ペンテコステでした。

そういうわけで、主イエスが私をお訪ね下さったのは、メディアの中でも特にラジオと言えましょう。ラジオ電波によって提供される福音を通して、主イエスは私の心の奥深く、魂までご訪問下さり、扉を叩いて下さいました。そして、私は扉を開けたのですが、もちろん、金庫のように頑丈、罪によってピタリと閉じられてしまっている扉を開けて下さったのは、聖霊なる神に他なりません。ハレルヤ!と御名を崇めます。

受洗して数年で神戸改革派神学校に進み、1993年卒業後、牧師・説教者となりました。ラジオを通して提供された福音によって救われた者として召しを感じ、関西圏で働いていた頃は所属中会提供の「キリストへの時間」で奉仕させていただき、2005年、中部圏に移ってからは当協力委員会にて奉仕をさせていただいております。昔も今も願いは変わりません。当番組を通じて、今は、ラジオばかりでなくインターネットを通じて、主イエスがダイレクトに聴取者の魂の扉を叩いて下さることです。そのためにも、私自身、ラジオ説教の修練にいいよ心と力を尽くしたいと願っております。お祈りとご支援、引き続きよろしく願い申し上げます。

栄光在主

## 信じるという選択

名古屋中学・高等学校 聖書科主任 琴ひかる

モーセは神に言った。「わたしは何者でしょう。どうして、ファラオのもとに行き、しかもイスラエルの人々をエジプトから導き出さねばならないのですか。」

神は言われた。「わたしは必ずあなたと共にいる。このことこそ、わたしがあなたを遣わすしるしである。あなたが民をエジプトから導き出したとき、あなたたちはこの山で神に仕える。」

出エジプト記 3 章 11～12 節

先日ある映画を見ていたところ、心に残るセリフがありました。それは、「自分が何者かは能力で決まるものではない、どんな選択をするかだ」という言葉です。普段から自信を持ってないことが多い私は、こんな私に何ができるだろうか、何が語れるだろうか、私はふさわしくないのではないかと、そう悩んでしまいます。しかし一方で、本当の問題は、私の能力の有無ではないということにも気付いています。まさに、どんな選択をするかが重要なのです。キリスト者として生きる私たちが選ぶべきものとは何でしょうか。

本日の聖書箇所はモーセの召命、神に呼びかけられたときのエピソードです。前後の聖書箇所も合わせて読んでいくと、あまりにも自信がなさすぎるモーセの姿が記されています。

モーセが生まれた当時、エジプト王がヘブライ人の男の赤ん坊を殺害するよう命じていたため、本当であればモーセも生まれてすぐに殺される運命でした。しかし、母親はモーセを川のほとりに隠し、そこにやって来たエジプトの王女がモーセを見つけ、ヘブライ人の子だと分かった上で彼を育てることにしました。

きっとモーセは成長するにつれ、自身のアイデンティティに悩んだことと思います。同胞であるヘブライ人たちが奴隷として重労働に服している中、モーセはエジプトの王女に育てられたが故奴隷として生きることはありませんでした。そんなモーセに罪悪感や後ろめたさがあったのではと窺える事件が起き

ます。モーセが成人したころ、あるエジプト人が奴隷のヘブライ人を鞭打っている姿を見て、モーセはそのエジプト人を殺してしまいます。モーセはエジプトから逃亡し、そしてたどりついた先で出会った女性と結婚しました。そこで羊飼いで生き、穏やかな生活を手に入れたと思いますが、しかしその地においても、自分は異国にいる寄留者だと感じていたようです。

時が経ちモーセが 80 歳のとき、神から「エジプトで奴隷生活を虐げられているイスラエルの人々を連れだせ」と命じられます。モーセは反論します。「わたしは何者でしょう。どうしてそのようなことをしなければならないのか」と。

モーセとは何者か。彼はヘブライ人であり、しかしエジプト人に育てられた者であり、殺人者であり、逃亡者であり、寄留者でした。それらの自己理解は、むしろモーセを何者にもさせなかったのではないかと思います。自分は何者か、その答えを求めつつも見つからない、そんな人生がこのモーセの反論の言葉になっていると感じます。

それに対し神は「わたしは必ずあなたと共にいる」と語ります。「わたしは何者か」という問いの答えにはなっていません。これは神にとって、モーセが何者であるか、今のモーセに何ができるのかは、重要ではないということです。「わたしは必ずあなたと共にいる。だからあなたが何者でも、何ができなくても大丈夫だ」と励ましているのです。

さらに神はモーセにしるしを与えます。しかしこれは、モーセの能力に応じて今すぐ与えるものではなく、民を導き出したあとに与えられるもの、まだ先の約束でした。モーセに求められていることは、能力ではなく、ただこれから始まる神の計画と導きを信じる人生を選ぶことだったのです。

世間では自分を信じるのが良いとされることが多いと思います。もちろんそれも大切なことなのかもしれませんが、私たちは自分自身に限界があるこ

とを知っています。また、あらゆる状況や心境によって自分を信じられなくなることはよくあることです。

しかし、キリスト者にとっては自分を信じられないことも、自信を持ってないことも、それは問題ではありません。わたしは必ずあなたと共にいる、そう

語りかけてくださる神さまに応えるには、ただ信じるという選択をすることが大切なのです。モーセのように、あらゆる自己理解が私たちを悩ませることがあるかもしれません。それでもただ一つだけ、私は神さまを信じる者であるという生き方を選び取り、与えられた今日を歩んでいきたいと願います。

## 「キリストへの時間」継続のために

「キリストへの時間」会計担当 青山昭一郎（日本キリスト改革派犬山教会信徒）

「キリストへの時間」は、恵まれて、2023年10月で放送開始71年を迎えました。これまでに多くの兄妹、教会、金城学院、名古屋学院、岐阜済美学院から献金が献げられて、今日に至っています。

今年度は繰越金60万円を計上することができ、大変感謝でした。

今年度から、改革派大会メディア伝道局が30万円を献金して下さい、教会、金城学院、名古屋学院、岐阜済美学院からの献金により、電波料（1カ月30万円）の9カ月分の献金が献げられています。皆様の献金により支えられ、ラジオ放送が継続できていること、必要を満たして下さいる主に感謝致します。

ウクライナへのロシアの侵略等により、今日の世界情勢を見る時、私たちは本当の平和（シャローム）を祈らずにはおられません。

私たちは、神様による救いを待ち望んでいますが、それを旧約聖書では、シャローム（救い）という言葉であらわしました。これはユダヤ人たちにとっては独特な表現ですが、訳せば、簡単に「平和」とか、「平安」とか訳されます。けれども、この「シャローム」という言葉は、非常に内容の豊かな言葉であり、この地上の生涯では「充足の生涯」ということがいえます。個人的な救いとか、安全とかというだけでなく、もっと大きな国家社会、地球的、宇宙的なものを含んだのが、「シャローム」という言葉の意味だと思えます。教会福音讃美歌の485番に「あなたの平和の」があります。『あなたの平和の器にして下さい。主よわたしをあなたの平和の器に。』

憎しみある所に あなたの愛があるように。悲しみある所に 喜びがあるように。

絶望ある所に 希望の道があるように 暗闇ある所に 光が満ちるように。

慰められるよりも 慰めることを求めよう 愛されることよりも愛すること求めよう。 赦すことに

より私たちは赦され 神の愛を伝える 平和の器に。』と讃美します。私たちは、本当に主の平和の福音の器に用いられたいと思います。

私たちは置かれた所で、主に仕えて行くことが求められています。

イエス様ご自身を、私の喜びとすることこそ、新しい私たちの生き方であるべきです。私の罪のために十字架にかかってくださったイエス様は、全世界の創造主であり、この世界を、「新しい天と新しい地」へと造り替えてくださる方です。

今、恵まれている方も、恵まれていない方も、神様に目を向けようとしなないときには、一切が空しいと思えます。しかし、どんな状態にあっても、神様を仰ぐとき、そこには輝かしい出発があります。神様は小さな者を祝福し、それをういて御業をされるお方だからです。

私たちが、今、感謝すべきことは、神様に用いられているということです。そこにこそ生きがいがあると思うのです。

私たちは、神様が与えてくださいましたこの働きを、更に継続し進展して行けますように努めて行きたいと願っています。

クリスマスの幸いを感謝いたします。

『今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。』

あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。』

すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。

「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。』」

（ルカによる福音書2章11～14節）

## 「新約聖書をお送りいたします」

2023年4月より、レスポンスを担当させていただいております。前担当の山田委員からお預かりした私書箱のカギを手にし、週に一度、名古屋東郵便局へ通うことになりました。私書箱170の郵便受けを見つけ、「届いているかなあ」と思いながらカギを開けます。私書箱にはガラスの小窓が付いているのですが、中がそれほど明瞭に見えません。少し緊張しながら扉を開けますと、ハガキや封筒が入っていることがあります。ラジオの放送を聴いた方々との触れ合いがここに始まるのを感じ、皆さまへの感謝の思いが心にしみてゆきます。

ハガキの場合はその場で読ませていただきます。「新約聖書を送ってください」とご希望が書いてありましたら郵便の窓口へ行って、返信用に「スマート

レター」を購入します。圏外の遠方の方から「ラジオで聴いています」、というお声があったり、入院中の方から「聖書を読みたい」、とお声があったりします。聖書は、ギデオン協会名古屋支部のご協力をいただいております。新しい新約聖書を送らせていただいております。貴いお働きを感謝いたします。

いただいたご意見はどれも、協力委員会で受け止めさせていただいております。せっかく「聖書を送ってください」とご希望くださったのに、ご住所が書かれていないものもごさいます。もしお心当たりがございましたら、ご住所をお教えいただきたいと願っております。

「キリストへの時間」協力委員 八束 清



## 「キリストへの時間」放送予定 2024年1月～6月

### 1月

7日 松谷友香 (日本基督教団金城教会信徒)  
14日 松谷友香 (日本基督教団金城教会信徒)  
21日 加納真知子 (日本基督教団愛知守山教会信徒)  
28日 加納真知子 (日本基督教団愛知守山教会信徒)

### 2月

4日 小室尚子 (金城学院学院長・学長・宗教総主事)  
11日 小室尚子 (金城学院学院長・学長・宗教総主事)  
18日 落合建仁 (金城学院大学宗教主事)  
25日 落合建仁 (金城学院大学宗教主事)

### 3月

3日 吉澤 永 (日本基督教団愛知教会牧師)  
10日 吉澤 永 (日本基督教団愛知教会牧師)  
17日 尹 成奎 (日本基督教団中川ぶどうの木伝道所牧師)  
24日 尹 成奎 (日本基督教団中川ぶどうの木伝道所牧師)  
31日 八束 清 (日本基督教団御器所教会牧師)

### 4月

7日 山口 弘 (日本キリスト改革派名古屋教会牧師)  
14日 山口 弘 (日本キリスト改革派名古屋教会牧師)  
21日 堂所大嗣 (日本キリスト改革派恵那教会牧師)  
28日 堂所大嗣 (日本キリスト改革派恵那教会牧師)

### 5月

5日 榮 巖 (日本基督教団春日井教会牧師)  
12日 榮 巖 (日本基督教団春日井教会牧師)  
19日 和田芳子 (日本基督教団東海教会牧師)  
26日 和田芳子 (日本基督教団東海教会牧師)

### 6月

2日 沖崎 学 (金城学院高校宗教主事)  
9日 沖崎 学 (金城学院高校宗教主事)  
16日 沖崎 学 (金城学院高校宗教主事)  
23日 北川美奈子 (金城学院中学校宗教主事)  
30日 北川美奈子 (金城学院中学校宗教主事)

キリスト教や聖書についてご質問のあるかた、この放送についてのご意見ご感想のあるかたは、以下にお便りください。また、ご希望の方には新約聖書を無料でお送りいたします。

〒461-8691 名古屋東郵便局私書箱170「キリストへの時間」まで

CBC ラジオ「キリストへの時間」(1053kHz) 毎週日曜日 朝6時30分～6時45分放送

郵便振替 00880-1-70404・キリストへの時間